

Smart School



「スマートスクール」 構想

教室のICT環境整備

“一人一台タブレット/PC” の推進

パソコン教室から普通教室で・・・



 いま、露呈し始めた
新たな課題とは！

リチウム電池の宿命



タブレット/PC内臓電池の消耗・経年劣化で
午後になると電池切れで授業に支障事態が勃発!!

リチウム電池の宿命

タブレット端末で現在使用されているリチウムイオン電池は、充電回数や充電方法により電極自体の劣化（炭素分子構造の変化）/バッテリーパック内のセルバランスの崩れ等で、使用劣化・経年劣化のスピードが速くなり、バッテリー能力に関するカタログ値は毎年減少していきます。これは毎日お使いのスマートフォンやノートPCをモバイルでご使用される際に新品時との差異としてご経験される現象です。

既に使用されているタブレットPC、パソコン等も購入と同時にバッテリー消耗が始まっており早晩この現象が発生します。

PowerUPS文教版新型シャトル

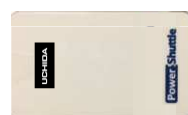
タブレット/PCに特化した強力モバイルバッテリーの開発

ハイパワー！急速充電！！

本邦初！

- * 現在市場にでているPC/タブレットの充電仕様（約40種類）を概ねカバー
- * USB Type-C による電源供給 ※専用電源ケーブル
- * PowerUPS本体に組み込まれたコンセントプラグにより、AC100V機器への給電が可能
- * 充電時間は2時間～3時間 2台のタブレットに同時充電しながら使用可
- * 現行シャトルと新型シャトルの混在使用可能

【PowerShuttle】



標準シャトル (11.1Wh)



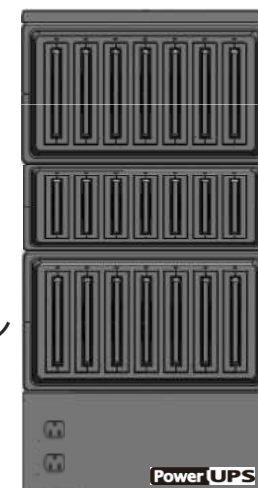
ロングタイプ (22.2Wh)



大容量シャトル (40Wh)

標準シャトル

大容量シャトル



PowerUPS文教版新型シャトル

■ NewShuttle 仕様 (予定)

- ・電池種類 リチウムポリマー電池
- ・電池容量 40Wh
- ・内部セル **3.6V × 6セル** 出力 21.6V
- ・出力端子 USB Type-C ×1
USB Type-C ×1 (Type-A相当機能)
USB Type-A ×1 (5V)
- ・サイズ W 210 × D 130 × H 12 (mm)
- ・再充電時間 (リチャージ) 約2~3時間

- タブレット/PCサイズ
- 現行比**3.6倍以上の充電容量**
- 児童/生徒にとっての安心・安全設計



いつ起こるのか、明日、起きるかも知れない 災害への対策 72時間の初動対応

公共性と人々の利便性 の追求！ 人と人とのつながりを支援

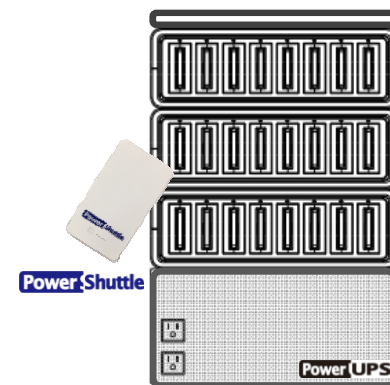
自治体災害避難場所での課題

帰宅困難者のコミュニケーション確保

スマホ充電の供給電源不足

＊ 長期避難住民への支援

＊ 自治体職員の初動対応を支援



“急速2台同時充電”

■ PowerUPS 仕様

- ・電池種類 リチウムイオン電池
- ・UPS容量 1000Wh = Shuttle 約80回分
- ・入力 AC100V 50/60Hz 最大1.5A
- ・サイズ W450 × D220 × H665 (mm)
- ・重量 約30kg

蓄電量はPower Shuttle 約80台分
iPhone8 100回以上充電可能

■ PowerShuttle 仕様

- ・電池種類 リチウムポリマー電池
- ・電池容量 7.4V 1,500mAh 11.1Wh (3.7V 3,000mAh相当)
- ・出力 DC5V 最大3.1A (2端子合計) ・出力端子 USB-A × 2
- ・入力端子 専用充電端子
- ・サイズ W70 × D120 × H10 (mm)
- ・重量 120g ・寿命 約300回以上
- ・再充電時間 (リチャージ) 約60分

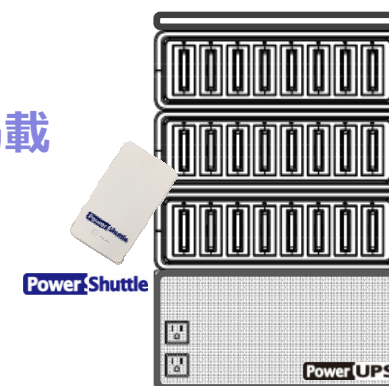
“急速2台同時充電”

これまで災害を経験した自治体を中心に防災意識は高まってきている。
(温度差はあるが) 危機管理対策は進みつつある。

「自治体通信」によるモニター募集 共同通信社配信による地方紙記事掲載

導入実績/モニター導入

福島県 浪江町役場 山口県 岩国市役所 鹿児島県 垂水市役所
北海道災害ボランティアセンター、札幌市清田区・厚真町 他



公共性と人々の利便性 の追求！ 人と人とのつながりを支援